

**平成30年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 健康福祉 部 地域福祉 室 障害福祉 課

1. 基本情報

802

施設名	伊丹市立障害者福祉センター		
施設の設置目的	障がいのある市民の自立と社会参加の促進ならびに地域における交流の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 支え合いの心でつくる安全・安心のまち 施策目標： 支え合いを基調とした地域福祉 主要施策： 当たり前の暮らしを支える障がい者福祉		
指定管理者の名称	社会福祉法人 伊丹市社会福祉協議会 （団体の住所又は所在地） 伊丹市広畑3-1		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 （管理運営の指定管理者の具体的目標）	指標名	利用人数（単位： 人 ）	
	指標の意味	年間の利用者数	
	今年度の目標値	50,000	今年度の実績値 59,619

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30（上期）	H30（通期）
	来館者数（人）	44,997	-	52,509	57,561	56,194	31,005	59,619
	貸し室稼働率（%）	48	-	43	40	37	37	48
	講座開催回数（回）	424	-	392	367	384	200	351
	講座参加者数（人）	4,488	-	4,375	4,218	4,696	2,281	4,187

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	平成28年度（2016）	平成29年度（2017）	平成30年度（2018）	3カ年平均
収入	使用料収入	0	0	0	0
	事業収入	483	430	452	455
	その他	0	0	14	5
	指定管理委託料	62,818	57,650	59,048	59,839
	①合計	63,301	58,080	59,514	60,298
支出	維持管理				
	光熱水費	10,808	7,866	6,404	8,359
	清掃等委託料	14,763	14,677	15,482	14,974
	土地建物賃料	907	252	2,077	1,079
	修繕料	2,419	1,546	839	1,601
	運営				
	人件費	25,835	23,895	26,849	25,526
	事業等経費	6,586	5,532	6,406	6,175
	その他	1,125	1,155	1,145	1,142
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	62,443	54,923	59,202	58,856
純収支（①－②）		858	3,157	312	1,442

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ 〈単位:千円〉		H25	H26	H27	H28	H29	H30
	市の収入	1,017	-	827	1,579	1,039	1,584
	（内、使用料収入）	611	-	447	1,008	974	997
	市の支出	68,996	-	75,513	66,254	57,650	60,308
	（内、指定管理委託料）	68,914	-	74,867	62,818	57,650	59,048
実質経費（歳出－歳入）		67,979	-	74,686	64,675	56,611	58,724

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		評価結果			
		指定管理者自己評価		施設担当課評価	
		評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B		
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B		
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		
運営等に関する項目	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B		
		避難訓練を実施しているか。	B		
	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A		
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B		
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B		
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B		
		経理処理は、適切に行っているか。	B		

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価 B	概ね適正に施設の管理運営がなされている。各種交流・啓発事業、イベント、カルチャー教室等幅広く事業展開しており、参加者の方々から好評を得ている。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成31年2月19日 ～ 平成31年3月30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	プールに置いてある車椅子のシートが破れたり、錆びて破損している。	一般の車椅子をプールにて使用しているが、塩素による錆、シートの破れがみられる。安全面からも高価ではあるが、プール用車椅子の購入を検討する。
	車椅子を使用している方の専用駐車場に車いすを使用していない方が駐車しており、駐められない。	屋根下駐車場に「ここは運転者が車椅子を使用している方の専用駐車場です」の看板を作成、設置した。
回答者数	34	男子・女子・家族更衣室とトイレの床材を張り替え、プールサイドと同じ滑りにくい床材に変更し、安全面に配慮した。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置